

# 令和6年度 健康なまち・地域ケア部会報告

資料 4 - 1

日時

令和 7 年 1 月 31 日 (金曜日) 午後 1 時 15 分から午後 2 時 45 分まで

開催方法

多摩小平保健所 (講堂) での集合とオンラインのハイブリッド方式

議事

- 1 地域保健医療推進プランの進行管理及び進捗状況について
- 2 生涯を通じた健康づくりの推進について
- 3 こころの健康づくりについて
- 4 感染症対策について

# 議事2 生涯を通じた健康づくりの推進について

## ● PFS（成果連動型民間委託契約方式）を活用した特定保健指導（清瀬市）

- 清瀬市では、令和2年度より特定保健指導の事業者への委託を開始
- 令和5年度の委託業者による利用勧奨成果を踏まえ、令和6年度は成果連動型民間委託契約方式を取り入れることで、実施率の向上を目指す。
- まだ事業が始まったばかりのため、効果はこれから注視していく。



## ● 健康づくり推進員と取り組む市民への健康づくり活動（東久留米市）

- 東久留米市では、みんなで取り組む健康づくりを目指し、市民、地域、行政の協働で市健康増進計画を策定・推進
- 市民ボランティアである健康づくり推進員（約40名）が健康づくり推進部会の活動に取り組み、食事、運動など7つの生活習慣について、健康増進のきっかけづくりとなる活動を地域に発信



# 議事3 こころの健康づくりについて

## ●ゲートキーパー研修・ ゲートキーパー養成講座（清瀬市）

●専門の資格を持たず、地域や職場など身近な環境で自殺対策を支援し、啓発を担う方を養成する講座

●令和5年度

- ・一般市民・関係機関向け（36名受講）  
初級編（オンデマンド）、中級編（集合）
- ・市職員向け（160名受講）  
オンデマンド方式とすることで自由な時間で受講できるようになり、受講者数が増加



●身近な人の自殺のサインに気づき、必要な支援につなげることもできるゲートキーパーを育成

●3日間のコースで、市の制度や実践編としての傾聴のロールプレイ、地域活動の紹介など、単なるゲートキーパー講座にとどまらず、総合的に情報を提供することで、市民による支え合う地域づくりを目指している。



# 議事3 こころの健康づくりについて

## ●令和6年度 学校保健と地域保健との連携会議

### ●開催日時

令和6年度7月26日（金曜日） 午後3時から午後4時まで



### ●議事

(1) 感染症対策について

(2) 大麻の乱用や市販薬のオーバードーズ（過剰摂取）について

「感染症対応」と「こころの健康（自殺対策）」の2点を中心に

保健所側から情報提供を行い、学校現場や医療現場との意見交換を実施

## ●5市・自殺対策担当者連絡会

●開催日時 令和6年11月22日（金曜日） 午後3時から午後4時30分まで

●議事 ①「市販薬オーバードーズ（過剰摂取）」について

②圏域各市の取組状況の報告について

# 議事4 感染症対策について

## ● 感染症対策講演会

【テーマ】「日頃から感染症発生に備える！～グループホームでの感染対策～」

【対象】管内の精神・知的障がい者グループホーム職員

第1回（令和6年9月）14施設21名、第2回（同年10月）17施設23名参加

【内容】第1部<講義>「感染症の基礎知識」

第2部<講義>「グループホームでの感染症対策の取組」

第3部<演習>グループホームでのおう吐物処理演習



## ● 北多摩北部保健医療圏市町村支援研修（災害対策編）

【テーマ】避難所における感染症対策の重要性について

～みんなに役立つおう吐物処理、いざという時のために～

【対象】圏域5市の健康主管課、防災主管課等の職員等 計22名参加

【内容】講義1：「避難所における感染症対策について」

講義2：「おう吐物処理方法について」

演習（訓練）：疑似おう吐物を用いたおう吐物処理訓練



# 議事4 感染症対策について

## ●課題別地域保健医療推進プラン 「Z世代に向けた性感染症の予防行動推進事業」

【背景】 東京都内の梅毒の報告数は、例年1,500件前後で推移

→令和3年2,451件、令和4年3,677件、令和5年は3,701件と増加

男性は20～50歳代、女性は20歳代中心。一方、当所の受検者は50歳以上が約半数

【目標】 Z世代への効果的な普及啓発の検討・実施を通じて、正しい知識の習得や予防行動・受検行動につながることを目指す。

### 【事業内容（1年目／2か年計画）】

- ・実態調査・管内2つの大学サークル団体等にヒアリングを実施
- ・3大学の学生対象にアンケート調査実施、分析
- ・Z世代へのヒアリングとアンケート調査により、性感染症に関する認識や予防行動、検査や受診に影響する要因について実態を把握
- ・Z世代にも受け入れられやすい保健所性感染症検査の新たな周知方法や性感染症予防の普及啓発方法を検討  
(助言者を入れた検討会の開催)

